

かんの弘一さんは「港区から全力投球、都民の目線で未来に責任を!」と力強く決意を語っています。

## 東京都議会議員

## かんの弘一さん

武井 雅昭  
港区長山田 みき  
衆議院議員1区辻 清人  
衆議院議員2区

私たちも応援しています!

豊洲市場移転問題、待機児童対策、  
東京2020大会の整備費用見直しをめぐる議論、  
首都直下型地震に備える災害に強い街づくり、  
そして今はコロナ禍の経済対策。  
常に都政の最前線に立ち、難題にひるまず、  
ポピュリズムに逃げず、  
正論と建設的な議論で東京を前へ進めます。

大逆風にひります、正論を展開。  
都議選後、主張通り豊洲市場が開場豊洲市場視察、現場に足を運び、  
声に耳を傾け政策に生かす

## 都政の最前線で働く

2期8年間で700超  
議会・委員会で積極的に発言「経済対策と感染拡大防止に全力を!」  
緊急開催の代表質問に登壇平成29年度は議論を取りまとめる側に  
総務委員長として災害対策や人権問題に注力

## 現在は、コロナ禍の経済対策に全力!

総務委員会・厚生委員会と並ぶ東京都のコロナ対策の最前線、  
経済・港湾委員会の副委員長として、  
コロナ禍の経済対策（中小企業支援・雇用の確保）と、  
ポストコロナに向けた経済再生のとりくみに全力を尽します。



## 都議会自民党

## 新型コロナウイルス感染症から都民を守る

## 都民の命と健康を守る

- 感染拡大防止への取り組みを支援  
→各業界団体や事業者の自発的・積極的な取り組みを支援
- ワクチン接種の円滑な実施へ  
→安全性等の情報提供、保健所支援、医師・看護師の確保
- 医療提供体制の整備・強化を推進  
→PCR検査、病床の確保、医療従事者等への支援を拡充

## 都民の生活を守る

- 感染拡大防止対策と経済回復の両立  
→営業時間短・自肃要請等への保障、支援の継続・拡充
- 中小零細企業、商店街支援の拡充  
→経営危機に直面している事業者の皆さんを全力で支援
- 失業対策、就業支援の充実  
→新たな技能を習得する環境の整備など就業支援を充実

## 重点政策



(新型コロナ支援サイト)



## 地域と国・都とを強く結ぶ 武井区長と港区自民党は 政策協定を締結！

地域の課題を進めるには、国・都・区の連携が欠かせません。かんの弘一が支部長を務める自民党港区総支部は昨年4月に武井雅昭 港区長と政策協定を結び、区議会と党である港区自民党議員団・都議会・国会との結びつきをより強め、地域の課題に継続的に取り組める体制づくりを行いました。



### 2年連続 待機児童ゼロ宣言！

武井区長と区議会与党の港区自民党議員団の働きで、港区では2年連続で4月期待機児童ゼロが実現。

また都議会においても、港区のような地価が高い地域でいかに保育所の整備を促進するかについて都に質し、補助上限額の引き上げや助成期間の延長など制度の充実が実現しました。

今後も更なる充実を目指して港区と国・都が連携して取り組んでまいります。



### 区長に店舗の賃料助成を提案

#### 「港区店舗等賃料減額助成金」が実現！

コロナ禍における店舗の家賃の問題は深刻で経済産業省や東京都も助成を行っていますが、港区の都心部においてはその額が高額なため、それだけでは十分ではありません。

武井区長にお会いした際に新宿区での事例を紹介し、港区でも何とかできないかと提案。

武井区長の決断で港区独自の賃料減額助成が実現しました。

## 地震・台風・水害 激甚化する災害 これまでの委員会での経験を生かし、 横断的に東京の防災力を強化！

東京都の防災を統括する総務委員会の委員長を務めた経験と、これまで所属した環境・建設、経済・港湾、都市整備の各委員会が所管する「現場」の声と議論の蓄積を生かし、局を横断した形での東京都全体の防災力強化に取り組みます。

### これまでの取り組み・これからの課題

#### 首都直下型地震の備えを急ぐ！

- ・コロナをはじめ感染症との複合災害の備えが急務（総務局）
- ・都道から区道へ、更なる無電柱化で緊急輸送道路を守る（建設局）
- ・東京最大の弱点・木造密集エリアの不燃化（都市整備局）
- ・老朽化マンションの耐震化・建替え支援（都市整備局）
- ・消防団の環境整備、多摩や島しょでの防災ドローン配備（総務局）

#### 都市型水害への備えも重要！

- ・防潮堤・水門整備で芝浦・港南などを高潮・津波から守る（港湾局）
- ・新橋などの地下街を浸水から守る（都市整備局）
- ・大雨時、古川など河川の増水を防ぐ地下調節池の整備（建設局）
- ・赤坂地域などを集中豪雨から守る幹線・ポンプ所の整備（下水道局）
- ・堤防を整備し東京東部低地帯を大水害から守る（建設局）

# 強い港区から 港区議会議員 かんの弘一さん



### 緊急来院に備えて

新型コロナウイルス感染症が再拡大に向かっていた昨年11月の終わり、ご縁があって、東京都の災害拠点病院の一つ北里研究所病院の病院長先生から、コロナ禍における医療体制の課題についてお話を伺う機会を得ました。

あらためて経済対策とのとりくみと感染拡大防止の両立の難しさを実感するとともに、それでもひつ迫する医療現場と東京の経済の両方を守らねばコロナから都民の暮らしを守ることはできないのだと決意を新たにしました。

また、新型コロナをはじめ緊急で来院される方が多くなってきたところで、特に夜間、病院の入口がわかりにくいという課題があるとご相談をいただき、直ちに病院に面した都道信号機に名称看板を設置し、緊急を要する患者さんが病院を通り過ぎてしまわないような改善を行いました。



### 都営浅草線のホームドアの整備が進みました

目の不自由な方のホーム転落事故は後を絶たず、痛ましい事故も起きています。

都営線の三田駅近くには「東京都障害者福祉会館」があり、施設を利用される方からのご相談を受け、都議一期目よりホームドアの設置にとりくんでまいりました。浅草線は規格が異なる乗り入れ線が多いため難航しましたがQRコードを利用した新システムの導入などもあり、新橋、大門、三田、泉岳寺各駅のホームドア設置が完了しました。残る高輪台駅についてもなるべく早い設置を求めてまいります。



## 地震・台風・水害 激甚化する災害 これまでの委員会での経験を生かし、 横断的に東京の防災力を強化！

東京都の防災を統括する総務委員会の委員長を務めた経験と、これまで所属した環境・建設、経済・港湾、都市整備の各委員会が所管する「現場」の声と議論の蓄積を生かし、局を横断した形での東京都全体の防災力強化に取り組みます。



### いくつもメリットが！自転車の活用を進める

近年、利用が進む自転車シェアリングですが、このコロナ禍において三密を避ける移動手段としてさらに注目を集めようになっています。

また、健康の増進や自転車を使った観光「サイクリングツーリズム」の可能性、そして都や国が自指すカーボンニュートラルの実現に向けた環境面でのメリットなど、自転車シェアリングの拡大、ひいては自転車の活用促進は多くの政策的効果が期待できる東京都の伸びしろです。

今後は利用環境の整備だけでなく、安全への配慮などについても更なる向上を進めます。

### 生涯健康！ スポーツ実施率70%をめざして

子ども時代から生涯にわたって誰もがスポーツを楽しめる環境の整備と機会づくり、そしてパラスポーツの支援に取り組みます。



地域の勉強会で都政の課題をきちんと説明、疑問に答える。



島しょ部を所管する総務委員長として小笠原返還50周年に参加



住民と一緒に品川駅周辺のまちづくりはライフワーク



大学のゼミで他県と比較し「都区制度」について臨時講義



森林資源の循環利用で脱炭素社会構造と多摩の住民振興を

